

獣医学部

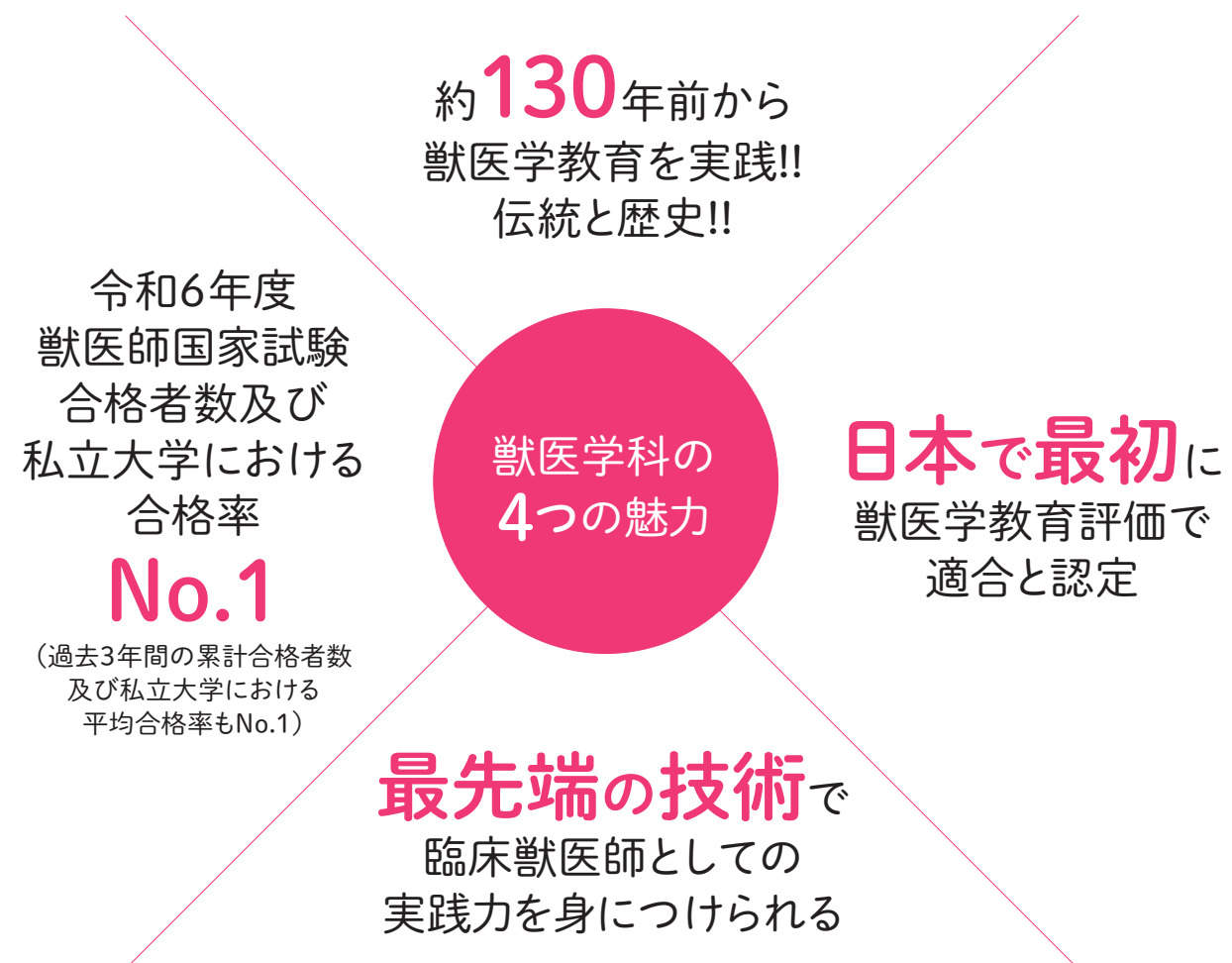


獣医学科

VETERINARY MEDICINE

獣医師をめざすなら 麻布大学・獣医学科へ

人と動物の関係が多様化する中で、獣医師にも幅広い役割が期待されるようになっていきます。
そのため本学科には、5つの系統から専門分野を多角的かつ総合的に学ぶことができるカリキュラムが充実。
小動物、産業動物、公衆衛生など多様な分野で活躍できる、優れた獣医師の養成をめざしています。



もっと伝えたい！

麻布大学獣医学科の魅力

- 国内だけでなく、**海外の専門医資格**を持つ教員が在籍
- 特許**を取得している教員も在籍
- 3年次(希望者は1年次)**から、**研究室**での活動が可能
- 実験動物のことを**様々な角度から総合的に**学べる
- 全国最多のOB、OG**が就職をサポート

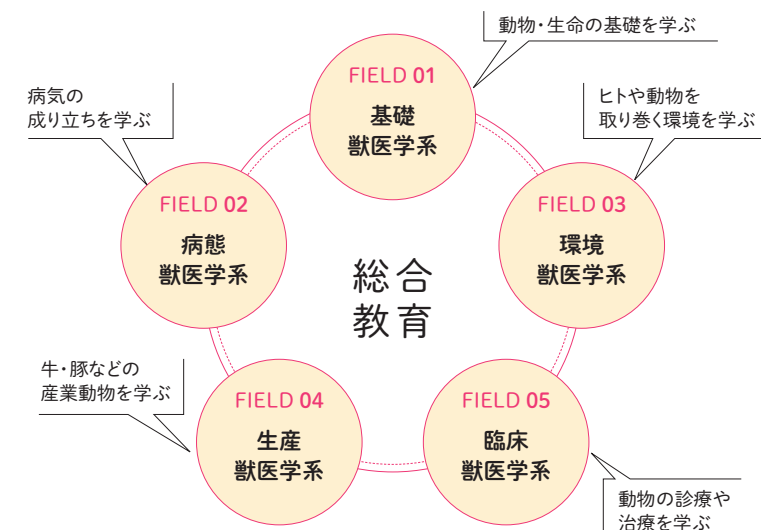


獣医学科での学び

5つの分野から 多角的な知識を身につけます

「動物や生命の基礎」「様々な病気の成り立ち」「牛や豚などの産業動物」「動物の診療や治療」「ヒトや動物を取り巻く環境」という5つの学びの観点から、獣医学科の幅広い領域について系統的に学べるカリキュラムを編成。

動物のことを基礎から臨床まで
段階的・総合的に勉強・研究ができる。



学びのポイント

- POINT 1** 獣医系大学最多となる研究室で多様な分野の獣医学を学ぶ
国内の獣医系大学最多となる約40研究室を学部を設置しており、基礎獣医学系、病態獣医学系、環境獣医学系、生産獣医学系、臨床獣医学系の5系統から多角的に学びます。
- POINT 2** 獣医療の現場と連携した最先端の実践教育
学内にある最先端の設備を備えた「動物医療センター」や「産業動物臨床教育センター(LAVEC)」で最先端の獣医療技術を培います。
- POINT 3** 「獣医師」資格の取得をめざす総合的なカリキュラム
国家資格の取得をめざす総合的なカリキュラムを設定しており、獣医系大学として最多の獣医師を輩出するなど高い実績をあげています。

獣医学科の特色

- 都市部にある**1つのキャンパス内**ですべてが学べる。
- 動物に触れて学べる実習施設が充実!!**
- 専門的に学べる研究室の数は**約40**。興味のある**卒論研究**がきっと見つかる!
- 机の上の勉強だけではない。**実践的な実習**が盛り沢山!!
- 1学年**120人以上**。社会に出ても頼れる**仲間が大勢**。 **全国No.1**
- 研究に取り組むことで、**科学的な思考方法、実践的なスキル**が身につき、**就職に役立つ**。



PICK UP!

ミライに向けて

最終年次の国家試験を見据えた段階的カリキュラム編成

獣医師国家資格を取得し、将来、獣医師として活躍するためには、獣医学の様々な分野を横断的に思考する力が必要不可欠になります。しかし、こうした力は一朝一夕で身につくものではありません。本学科では、1・2年次に動物の正常な形態や機能を学び、3・4年次に感染症や疾病を患った動物の症状や検査方法について学び、5年次に臨床実習を通して、実際の問題や症例に対する適切な診断と治療方針を決定するための応用力を養います。このように、本学科では学生の国家資格取得と卒業後のミライを見据えたバックカスティングに基づく段階的カリキュラムを取り入れています。



●仮想現実技術を活用した実習

国内の獣医系大学では、VRを取り入れた教育の例は少なく、先進的な取組です。VRを授業で活用している獣医総合臨床実習では、臨場感あふれる映像で、気管挿管や手術などの技術・知識を習得することが可能です。この取組は、動物への負担軽減というアニマルウェルフェア(動物福祉)にも貢献しています。

研究室一覧

LABORATORY LIST

獣医学科

解剖学第一研究室 病気を理解するために まずは動物の健康な状態を知ろう 准教授：市原 伸恒 講 師：大石 元治 ●研究テーマ 動物の正常な体の仕組み 皮膚のバリア機能を担う細胞のはたらきを探る。体の動きの秘密を骨と筋肉から探る。 研究対象 伴侶動物、産業動物	解剖学第二研究室 顕微鏡でありのままを観る 教 授：坂上 元栄 講 師：小澤 秋沙 ●研究テーマ 模様、毛の状態、毛周期 動物の模様を決める毛色が生じるメカニズム、毛の状態を決める要因などに関する研究。 研究対象 実験動物、ほ乳類	生化学研究室 基礎と臨床を研究でつなぐ 教 授：山下 匡 講 師：永根 大幹 ●研究テーマ 病気を調べて治療法を研究する 疾患に関わる様々な分子経路を解析し、病気の原因となる遺伝子・タンパク質・脂質の機能を明らかにする。 研究対象 培養細胞、マウス、イヌ	公衆衛生学第一研究室 環境からのメッセージを読み解こう 准教授：吉岡 亘 講 師：杉田 和俊 ●研究テーマ 環境と動物の相互作用 環境衛生とその関連の領域の中で（1）分析化学方面から化学物質の検出（2）生物学方面から環境応答の分子基盤の解明に取り組んでいます。 研究対象 環境試料（土壌、水、空気）、煙草、実験動物	公衆衛生学第二研究室 毎日食べる食品の安全性や 動物由来感染症を研究しています 教 授：森田 幸雄 講 師：岡谷 友三アレシヤンドレ ●研究テーマ 食品、特に食肉の摂取に起因する 感染症について 家畜や野生動物は一見健康でもO157等の食中毒菌を腸管内に保菌しています。これらの細菌による食中毒を防止する方法を科学的に証明しています。 研究対象 と畜場法（牛、豚、馬、めん羊、山羊）、食鳥処理法（鶏）、ジビエ（イノシシ、シカ等）の糞便や食肉	産業動物内科学研究室 産業動物の健康は 私たちの心と体の健康です 教 授：恩田 賢、山田 一孝 講 師：新井 佐知子 助 教：風間 啓、堀 香織 ●研究テーマ 牛の臨床、代謝・泌乳生理、蹄病、 豚の内科学と運動器疾患 正常な動物から病気の動物まで、牛や豚の生物学的な特徴を明らかにし、健康な動物の生産を通して人と環境を豊かにする研究を行っています。 研究対象 産業動物（牛、山羊、羊、豚）
分子生物学研究室 動物の成り立ち、生い立ち、歩みを DNA・RNAから解き明かす 教 授：村上 賢 ●研究テーマ 動物の遺伝子の発現制御機構、 DNA鑑定 動物の遺伝子が発現するしくみを解明し制御して…牛を効率よく太らせる、犬や猫を無理なく痩せさせる、骨を丈夫にする、など。 研究対象 伴侶動物、産業動物、実験動物、野生動物	病理学研究室 動物の病気のなりたちを調べる 教 授：上家 潤一 准教授：相原 尚之 助 教：志賀 崇徳 ●研究テーマ 動物の病気のなりたちを調べる ヒトと動物でともに重要な病気であるアミロイド症、リンパ腫、筋ジストロフィーといった疾患の病理発生を研究しています。 研究対象 産業動物、伴侶動物	寄生虫学研究室 生き物の中にはなんらかの生物が いて共生あるいは寄生している 教 授：平 健介 ●研究テーマ 家畜寄生虫病、人獣共通寄生虫病、 消化管内寄生虫 産業上あるいは公衆衛生上問題となる家畜や伴侶動物の寄生虫病で、特に消化管内寄生虫による病気の予防治療に関する研究を行っている。 研究対象 産業動物、伴侶動物、魚類、昆虫類	微生物学研究室 動物のウイルス感染症の 撲滅をめざします 教 授：田原口 智士 准教授：藤野 寛 ●研究テーマ ウイルスの感染症抑制と病原性発現 機序の解明 ウイルスが感染して病気を起こすまでには、ウイルスと宿主の間で様々な相互作用が起こっています。それらをウイルス側・宿主側から解明していこうとしています。 研究対象 ウイルス、伴侶動物、産業動物	小動物内科学研究室 「臨床の限界」という壁を サイエンスでのりこえる 教 授：久末 正晴 准教授：五十嵐 寛高 助 教：西 晃太郎 ●研究テーマ 犬猫の再生医科学研究、腸内細菌、腫瘍、 免疫、線維化 肝臓・血球の再生医療、糞便移植や腸内細菌叢の解析、血液腫瘍や免疫介在性疾患の診断・治療、臓器炎症・線維化を研究。 研究対象 伴侶動物（犬、猫）	小動物外科学研究室 様々な専門的視点から犬猫の 臨床獣医学に取り組む 教 授：藤井 洋子、高木 哲、藤田 幸弘、 齋藤 弥代子 准教授：青木 卓磨／講 師：金井 詠一 ●研究テーマ 犬猫の臨床獣医療 軟部組織外科、腫瘍科、整形外科、神経科、呼吸器科、循環器科のそれぞれの専門的視点から臨床獣医学に取り組む。 研究対象 伴侶動物（犬、猫）
伝染病学研究室 伝染病の病原体診断、予防、感染制御 に関する研究に取り組んでいます 教 授：長井 誠 准教授：村上 裕信 助教：石田 大歩 ●研究テーマ 動物の感染症の制御 生体試料からの病原体検出、病原体の性状解析や抗ウイルス作用のある化合物の探索など、動物の感染症の制御に役立つ研究。 研究対象 産業動物、伴侶動物、野生動物	臨床診断学研究室 動物の臨床病理・病理診断に 特化した研究室です 教 授：上家 潤一（兼務） 講 師：根尾 櫻子、峰重 隆幸 ●研究テーマ 臨床病理と病理 臨床病理検査の裏付けを病理検査で行う新しい学問分野です。 研究対象 伴侶動物（犬、猫）	生理学第一研究室 爬虫両生類を中心に、エキゾチック アニマルの体のしくみと生態のつな がりを見る 教 授：村上 賢（兼務） 講 師：松井 久実（兼務） ●研究テーマ 年齢推定、ボディコンディション、 体色 健康度や年齢、性別など、野生動物の保全の観点で当該種の集団構造を考える際に有用となる基礎情報を測定するための手法開発に取り組んでいます。 研究対象 両生類、爬虫類、鳥類（野生動物・コンパニオンアニマル）	生理学第二研究室 ヒトと動物の病気の原因と 診断・治療法の追究 教 授：折戸 謙介 講 師：井上 真紀 ●研究テーマ 病因究明と診断・治療法の追究 人や動物の疾病の原因を解明し、病態メカニズムをもとに診断・治療方法を提案する。 研究対象 伴侶動物、実験動物	薬理学研究室 動物や人の健康と幸福に貢献する ことをめざして 教 授：善本 亮 准教授：福山 朋季 講 師：梶 典幸 ●研究テーマ 薬や食品成分の薬理作用と安全性 消化管疾患、糖尿病、アレルギー、歯周病の発症機序解明、および各疾患に影響を及ぼす化学物質の研究／トリグリセリドを中心とした脂質の生体への作用の研究。 研究対象 実験動物、細胞、細菌	感染免疫学研究室 敵を知り、己を知る！病原体から身 体を守るしくみと病原体による感染 メカニズムの解明 教 授：川本 恵子 准教授：岡本 まり子／講 師：佐藤 祐介 ●研究テーマ 病原細菌、細菌叢、バクテリオファージ、 宿主免疫機構、免疫を利用した癌治療 細菌の攻撃と宿主の防御を解明する研究室。さらに体内の癌と宿主との攻防を解明し治療応用を探索する研究室。その関ぎ合いの新しい形を提案する研究。 研究対象 実験動物、細胞、細菌、バクテリオファージ、ウイルススペクター、イヌT細胞エンジニアリング

獣医学科

獣医衛生学研究室 牛乳房炎の研究を核に 広く牛の生産獣医療を学ぶ研究室 教 授：河合 一洋 助 教：棚澤 共生 ●研究テーマ 牛の乳房炎、生産獣医療 生産獣医療の観点から薬剤耐性や牛乳房炎の治療と防除手法の研究に取り組んでいます。 研究対象産業動物	実験動物学研究室 実験動物福祉の理念を守りながら 人や動物の健康に貢献する 教 授：中村 紳一郎 准教授：塚本 篤士 ●研究テーマ 疾患モデル・実験動物福祉 実験動物福祉の理念を守りながら、人や動物の健康に貢献できる新しい実験動物モデルを研究しています。 研究対象マウス、ラット	小動物臨床研究室 犬、猫を中心とする臨床的研究を主体に幅広い研究分野に展開する 准教授：西田 英高 助 教：伊藤 哲郎、高橋 広樹 ●研究テーマ 犬・猫の臨床獣医学 内科、眼科、神経外科などのさまざまな専門学的な分野から臨床獣医学の発展に取り組む。 研究対象伴侶動物（犬、猫）	栄養学研究室 ウシとブタの栄養について、基礎から応用まで研究しています 教 授：勝俣 昌也 准教授：鈴木 武人 ●研究テーマ 産業動物の栄養生理 ウシのルーメン発酵と周産期の栄養管理、ブタの時間栄養学とアミノ酸栄養について研究しています。 研究対象ウシ、ブタ	臨床繁殖学研究室 繁殖のフィールドに最先端技術を導入し、生命の誕生を支える 教 授：吉岡 耕治 准教授：野口 倫子 ●研究テーマ 産業動物の受胎性向上と高度繁殖技術 産業動物の受胎性向上と高度繁殖技術、IoTを活用した繁殖管理システム、豚の人為的初乳作出技術など、生産現場で活用できる研究に取り組んでいます。 研究対象産業動物	獣医放射線学研究室 動物に負担の少ない診断と治療をめざして 准教授：圓尾 拓也 講 師：茅沼 秀樹 ●研究テーマ 各種画像診断と放射線治療 X線、超音波、CT、MRIといった各種画像診断と放射線治療を通して広くコンパニオンアニマルのQOL向上に寄与する研究を行っています。 研究対象伴侶動物（犬、猫）
---	--	---	--	--	---

総合科学部門

生物学研究室 質の高い独創性がある研究を 追求し世界に発信する 教 授：佐原 弘益 講 師：西本 裕樹 ●研究テーマ 1. 癌の生物学 2. 炎症性呼吸器疾患の病態と治療薬 1. 癌の基本的な性質を分子レベルで解明していく。 2. 炎症性呼吸器疾患の病態形成やその特徴と新規治療薬を探索する。 研究対象1. 腫瘍生物学 2. 炎症・免疫、呼吸器系	数理科学研究室 緻密な論理に立脚した 普遍の真理の探求 准教授：廣田 祐士、西脇 洋一（兼務） ●研究テーマ 現象の記述と数学理論の究明 現象や物事の機作を数学、特に幾何学の言葉で定式化し、背後に潜む数学的真理を探ります。 研究対象対称性、トポロジー、力学系	情報科学研究室 情報科学を礎に生体膜の応用研究 や画像の機械学習活用など幅広く 准教授：三澤 宣雄、西脇 洋一（兼務） ●研究テーマ 生体膜の応用研究から機械学習に基づいた画像識別の応用まで幅広く 脂質二重膜を反応場としたセンサ開発や細胞をはじめとする生体試料の画像識別に取り組んでいます。 研究対象生体材料、細胞、膜タンパク質、核酸	化学研究室 微生物がつくる未知の生理活性物質から人や動物の薬剤をめざす 教 授：紙透 伸治 准教授：小林 直樹（兼務） ●研究テーマ 微生物がつくる化合物から薬剤をめざす 動物に生息する微生物がつくる化合物を単離し、これらがどのような効果を示すか培養細胞を使って調べることで薬剤をめざす。 研究対象微生物、有機化合物、培養細胞	語学・人文学研究室 動物をめぐる倫理思想と文化史を 探る19世紀英国の資本文化について研究する 教 授：石井 康夫／准教授：委文 光太郎 講 師：ジョナサン・リンチ（兼務）、城山 光子（兼務） ●研究テーマ 動物観・倫理 動物の「命」の尊さ、生命を持つものへの畏敬の念について考える。 研究対象小動物・産業動物の倫理文化史	生物科学総合研究所 まだ知られていない動物の 微生物をみんなで発見しよう 教 授：落合 秀治 ●研究テーマ 動物の病原性微生物 かつて例を見たことがない病原性微生物をいち早く発見報告し、動物の健康を守る。 研究対象産業動物、エキゾチックアニマル
--	--	--	--	--	---

獣医保健看護学科

愛護・適正飼養学研究室 動物を社会的な存在として受け止め、人と動物の共生と、共生のための必要条件や制度について研究します 教授：植竹 勝治、大倉 健宏	獣医臨床看護学研究室 動物とその家族のwell-beingのために、看護ケアや病気の予防を科学的に研究します 教授：島津 徳人（兼務） 准教授：今井 彩子 講師：久世 明香、一戸 登夢、小野沢 栄里	動物資源育種学研究室 動物の音声コミュニケーションの多角的な理解を目指します 准教授：戸張 靖子、神作 宜男	野生動物学研究室 野生動物を理解し、人間社会との共生のあり方を探ります 教授：塚田 英晴 准教授：山本 誉士	動物工学研究室 動物工学を駆使して社会課題の解決を目指します 教授：田中 和明 講師：大我 政敏	比較毒性学研究室 化学物質の生体への影響を科学的に解析しています 准教授：宗綱 栄二 講師：寺川 純平	伴侶動物学研究室 動物の“こころ”の成り立ちの科学的な理解を目指します 教授：茂木 一孝 講師：今野 晃嗣
獣医基礎看護学研究室 生命現象の基本と多様性に基づいて、動物の健康や病気の成り立ちを多面的に研究します 教授：栗林 尚志、島津 徳人 准教授：大仲 賢二	動物行動管理学研究室 動物の行動と管理を理解し、動物と人双方の生活の質の向上を目指します（Go! Do! for Animal and You） 教授：塚田 英晴（兼務） 講師：加瀬 ちひろ、池田 裕美	動物繁殖学研究室 動物の生殖・繁殖の仕組みを明らかにすることで、ヒト・動物での種の保存に貢献します 教授：伊藤 潤哉 講師：鴨下 真紀	介在動物学研究室 ヒトと動物の共生のあり方とそれによる恩恵を調べ、共生未来社会へ貢献します 教授：菊水 健史、永澤 美保	動物資源経済学研究室 牛乳・卵・肉の経済とビジネスの仕組みを知ることで健康な社会をつくれます 教授：大木 茂	食品科学研究室 動物性食品（肉・乳・卵）を加工する、食べる視点で科学的に解析しています 准教授：水野谷 航、竹田 志郎	

資格を生かす

国家試験受験資格をはじめ、食品や環境、動物にかかわる様々な資格の取得が可能です。さらに、教職課程のカリキュラムを履修することにより中学・高等学校教員免許の資格も取得できます。

獣医学科で取得可能な資格

国家資格

- 獣医師
- 第1種作業環境測定士(実務経験1年以上)
- 労働衛生コンサルタント(実務経験5年以上)
- 普及指導員(実務経験4年以上)
- 甲種危険物取扱者
- 家畜人工授精師

任用資格*

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 環境衛生監視員
- 環境衛生指導員
- と畜検査員
- 食鳥検査員
- 狂犬病予防員
- 薬事監視員
- 家畜防疫官・家畜防疫員
- 種畜検査員
- 飼料製造管理者
- 家庭用品衛生監視員
- 動物愛護担当職員

※所定の単位を修得し、卒業後その資格に関連する職務に就いた場合に、申請して取得できる資格

その他

- 農業教員免許(高校)
- 理科教員免許(高校・中学)

学びを仕事に

幅広い業種への就職実績

- 臨床獣医師(伴侶動物・産業動物)
- 国家公務員(農林水産省、厚生労働省)
- 地方公務員(家畜保健衛生所・食肉衛生検査所・保健所)
- 実験動物技術者
- 畜産技術者
- ペット関連産業従事者
- 研究・開発職(医薬・食品・飼料)
- 大学院進学など(過去5年分)

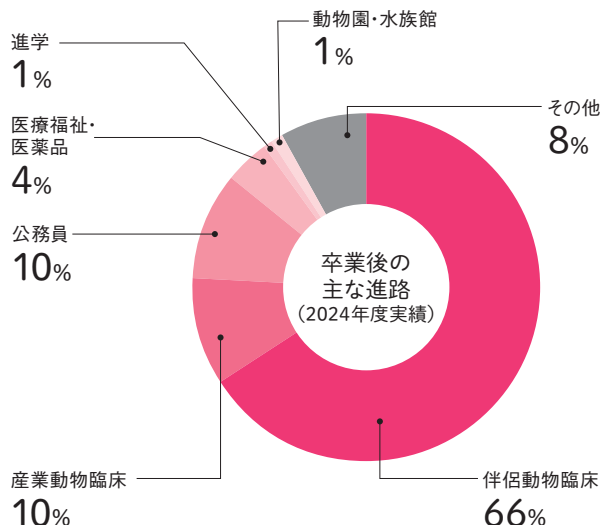
過去5年間累計
獣医師国家試験合格者数

No.1*

就職率
(2024年度実績)

99.1%

※農林水産省「獣医師国家試験の結果(過去5年間)」引用



就職先・進学先(過去5年分)

- 伴侶動物臨床**
全国各地の動物病院(2次診療施設含む)
- 産業動物臨床**
軽種馬育成調教センター／地方競馬全国協会／日本中央競馬会(JRA)／NOSAI北海道／NOSAI宮城／NOSAI山形／NOSAI福島／NOSAIぐんま／NOSAI千葉／NOSAIひょうご／NOSAI岡山／NOSAI広島／NOSAI宮崎 など
- 公務員**
農林水産省／厚生労働省／全国各地の県庁／市町村など基礎自治体
- 医療福祉・医薬品**
アステラス製薬／共立製薬／佐藤製薬／新日本科学／大正製薬／中外製薬／日本全薬工業／ロート製薬 など
- 進学**
麻布大学大学院／東京大学大学院／京都大学大学院／北海道大学大学院／大阪大学大学院／東京科学大学大学院／東京農工大学大学院 など
- 動物園・水族館**
オリックス水族館／那須サファリパーク／横浜八景島 など
- その他**
医薬品医療機器総合機構／農業・食品産業技術総合研究機構 など

卒業生メッセージ



よもぎ動物病院
院長

高野 加奈
TAKANO Kana

獣医師になるためには6年間大学に通いますが、長い期間である分、様々な経験を積むことができます。私は縦にも横にもつながることができ、こうした人間関係は今携わる仕事になくてはならないものとなっています。とても貴重で充実した時間を麻布大学で過ごすことができ、本当に良かったと感じます。私が所属する獣医師会にも麻布大学出身者が多く、世代を超えて親しくなれます。「麻布大学を出ました」という若い方々との出会いを、今から楽しみにしています！

麻布大学
AZABU UNIVERSITY

オープン
キャンパス
情報



入試要項



資料の請求・受験に関するご質問は
「麻布大学 入試広報・渉外課まで」

TEL 042-769-2032

MAIL nyushi@azabu-u.ac.jp
(入試広報・渉外課)

<https://www.azabu-u.ac.jp/>



〒252-5201
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

JR横浜線 矢部駅 下車

北口から徒歩4分

※お車でのご来場はご遠慮ください。

